


自分の意志で考え判断し表現できる生徒 自他を尊重し変化を前向きに捉える生徒 健康で安全な生活の中で挑戦できる生徒



浜頓別町立浜頓別中学校  
学校だより  第3号  
R8年 6月 9日発行  
文責・編集・発行：教頭

## 忘れてやらない



5月30日(土)  
雨



6月2日(火)  
晴



## 思い出に残る 体育祭

エビデンス（証拠とか証明という意味）という言葉が一般社会にもだいが浸透してきました。そして、多くの場合、エビデンスとして調査結果等の数字が使われます。

Evidence さえ Critical Thinking

ですが、数字なんて、作り方、見せ方、捉え方で、なんとでもなります。「良く見せる」「悪く見せる」を意図的に作り出すことができます（提示される図表の軸に書かれている数字や単位に注目してみてください）。なので、エビデンスさえ批判的に考える必要があります。

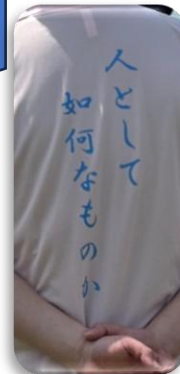
そもそも、誰かが何かを主張している場合、常に批判的に考える必要があるのでないかと思いません。それが、隣人だろうが、大企業だろうが、行政だろうが、批判的に考えることで、よりよいものに繋がっていくのだろうと思います。

物事を正しく批判的に捉え、良い方向を示すリーダー。日本の各地でそんな人材が育つような教育を、私たちは進めていくことが大切な気がします。

### テラスでの様子



浜中HPはこちら



嵐が去って ～感謝カンゲキ雨のち晴れ～

校長 明石 貴宣

5月30日（土）に実施した体育祭には、天候の悪い中、多くの保護者、地域の皆様にご観覧いただき誠にありがとうございました。当日実施できなかった競技は6月2日（火）に実施しましたが、こちらも多くの保護者の皆様が応援に駆けつけてくださいました。心より感謝申し上げます。

天候の悪化に伴い、実施種目や日程の変更があったにも関わらず、本校の生徒が変化を前向きにとらえて臨機応変に対応していく姿には本当に感心させられました。寒い中、雨にあたった生徒たちには申し訳ないことをしましたが、文句一つ言わず、自分たちの手で体育祭を作り上げていく姿を見ることができました。

本校が目指す生徒の姿に、「状況に応じて、多面的・多角的に考え豊かに表現できる生徒」「互いに認め合い、変化に柔軟に対応して成長しようとする生徒」というのがあります。今年の体育祭で見せてくれた姿は、まさにこの目指す姿に迫るものでした。

社会は決して思い通りにばかりいくものではありません。まして、天気をはじめとして自分ではコントロールすることができないものもたくさんあります。コントロールできないことに不満を持つことよりも、自分ができることを精一杯やり遂げることの大切さを、今回の体育祭での生徒の姿が改めて教えてくれました。

また、当日までの取組の中では、それぞれの縦割りチームや各学年の特長、一人一人の「よさ」も随所で発揮されていました。特に3年生の成長は目覚ましく、「らしさ」を発揮しながら、リーダーとしての頼もしさを感じるようになりました。クラスTシャツが同じデザインで色違いのカラフルだったのも、十人十色でOnly oneの3年生らしくて素敵でした。7月には修学旅行を控え、ますますこれからが楽しみです。